

週報みえぎよれん

★浜に身近な話題をお届けする関係者向けミニ情報誌★

編集・発行

JF 三重漁連指導部

TEL:059-228-1205

FAX:059-225-4511

本紙は三重漁連ホームページ (<http://www.miegyoren.or.jp/>) での閲覧を推奨します (PDF ファイル)。

2019年度
三重県資源管理研修会
-1/28(火) フレックスホテル-



1月28日(火)、松阪市のフレックスホテルにて、2019年度三重県資源管理研修会が開催された。

本研修会は、本県周辺水域の水産資源の維持・増大と安定的な漁業生産を確保し、漁業関係者一体となった資源管理を実施することを目的としている。当日は、漁協・水産関係団体、県・市町他併せて50名以上が参加した。

最初に、国立研究開発法人水産研究・教育機構理事の中田薫氏が、「環境変動と漁業の関係-気候変動が水産資源に及ぼす影響-」と題し、気候変動や水温の変化が水産資源に及ぼす影響と適応策等について説明を行った。続いて、三重県農林水産部漁業環境課主査の牧野朗彦氏が、「改正漁業法(資源管理)と

今後の三重県の資源評価・資源管理の取組」と題し、先般、法案が成立した改正漁業法の、資源管理分野についての改正点と、三重県におけるICTを活用した資源管理システムの紹介や新たな資源評価方法について説明を行った。続いて、三重県水産研究所資源管理・海洋研究課主任研究員の笹木大地氏が、「県内の重要資源の資源動向」と題し、三重県内の各海域における漁獲データ等を用いた漁種別の資源動向について説明を行った。

質疑応答では多くの質問が寄せられ、資源管理に対して多くの関心が示されていることが分かる結果となった。

2019年度
「浜の起業家養成塾」開講!



1月21日(火)、全漁連は2019年度の「浜の起業家養成塾」を開講した。

開講式では、主催者を代表して大森敏弘全漁連専務は「各浜で実感してい

と思うが、海洋環境の変化や、消費・流通構造の変化が漁業経営に影響を与えている。このような変化に対応するためには獲るだけでなく流通・消費までを踏まえた経営感覚を持つことが重要になる。そのためにも我が国漁業の将来を担う皆さんに、しっかりと学んでいただき、各浜を牽引していただくことを期待する」と挨拶した。

2期目となる今年度は各浜から20代～40代の若手漁業者7名が入塾し、現在も開講中である。三重県からも女性漁業者1名が参加している。

入塾した7名は、1月31日(金)までの11日間を全国漁業協同組合学校の寮で過ごし、水産情勢、資源・環境、政策・制度、流通・加工等の基礎を学ぶ「漁業・地域理解編」(3日間)、異業種連携を含む新たな事業の立案、経営戦略等を学ぶ「ビジネス戦略・起業化マインド実践」(4日間)、専門家の講義やアドバイスをもとにアイデアをかたちにする「事業計画作成実践」(半日)など漁業の経営等について集中的に学んでいる。

同塾は、漁業・異業種連携の促進等を図るため、JFグループとして「人づくり」を重要課題に掲げ、全国段階において、将来の浜のリーダーとなるべき人材を育成することを目的して昨年度から開講し、1期生は10人が修了した。

**漁船リース事業・機器導入事業
セーフティーネット事業説明会
開催案内-2/17(月)水産会館にて-**

2月17日(月)、三重県水産会館(津)にて令和元年度補正予算「漁船リース事業」「機器導入事業」および令和2年度「セーフティーネット事業」の説明会を開催します。

当日は、各事業申込みの流れや注意点について説明を行う予定。

各事業で大幅な変更は予定されておりませんが、スムーズな事業活用のため、皆様ぜひご参加ください。

日時：2020年2月17日(月)13時30分～
場所：三重県水産会館
※新リース事業の説明会は別途開催予定

【主な予定】

○1月31日(金)

青さのり第1回汐(松阪)

○2月1日(土)

三重外湾漁協女性部研修会(松阪)

○2月7日(金)

黒のり第5回汐(松阪)

○2月10日(月)

決算税務研修会(津)

○2月17日(月)

令和元年度補正予算漁船リース事業・機器導入事業および令和2年度セーフティーネット事業説明会(津)

本文の無断転載・転用等は固くお断りします。